

神奈川ネットワーク運動 海老名

生き活きまちづくりレポート



市議会議員 つつ木みゆき

No.118

2021年4月20日発行

発行責任：神奈川ネットワーク運動海老名
代表 齊藤いずみ

発行部数 28,000部



〒243-0422
神奈川県海老名市
中新田 1-11-11
TEL：046-235-7014
FAX：046-234-5302

<http://ebina.kanagawanet.jp>
e-mail:ebinanet@mub.biglobe.ne.jp

つつ木みゆきの一般質問

3月議会 一般質問

多頭飼育崩壊の対策

新型コロナウイルス感染症拡大により出されていた緊急事態宣言は解除されましたが、混沌とした日々は続いています。

そんな中、近年犬や猫の多頭飼育からの救済を求める声や崩壊寸前の危機的状況を訴える声が動物愛護の現場に多数寄せられ、多頭飼育崩壊に陥る人も増えていて社会的な問題になっています。前回、私が関わった海老名市の多頭飼育崩壊の現場の件をまちレポ116号でお伝えしましたが、多頭飼育崩壊は犬や猫だけの問題ではありません。経済的な課題やゴミの問題を抱えた方への包括的な相談支援が必要です。生活困窮支援制度や生活保護制度を活用することが必要な場合もあり、様々な事例に応じて福祉と連携し支援を行っていくことが必要になってきます。

多頭飼育崩壊に対する市としての見解を質問しました。

市の答弁

多頭飼育崩壊を起こす世帯には福祉的な支援を必要とする場合もあることは認識している。市として福祉的な支援をきっかけに多頭飼育崩壊の解決に向けて福祉的な支援が必要な可能性があると認められる場合には、状況に応じて福祉部局と連携して対応していく。

飼育崩壊のリスクの高い人を早期に見つけ、人間と異なる繁殖能力を持つ犬や猫の飼育について正しい知識を持つことを伝えていくことが必要です。今回県の新年度予算の中で新たに多頭飼育対策として、3,874万円が計上され動物の一時保護用の建物を建設するほか、見守りの体制強化に充てられます。海老名市の事例も県を動かす一つの要因になったと思います。

地域猫の取り組みを進めていきます

海老名市では市内に生息する飼い主のいない猫の不妊及び去勢手術に係る費用を補助するTNR活動事業を行っています。(一匹5,000円補助)

飼い主のいない猫を排除するのではなく、不妊や去勢手術により一代限りの生を全うさせ数年かけて地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指す「地域猫の取り組み」です。

動物が嫌いな人や動物に関心のない人などそれぞれの考え方、価値観に十分配慮しながら多くの命を守っていく地域猫の取り組みは、これから地域の方々のご理解を得ながら進めていきたいと思っています。

まずは皆さんの周りにいる飼い主のいない猫たちを見つけてください。彼らは生きるために過酷な毎日を送っています。

(生き物を捨てることは犯罪です。遺棄した者は1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処されます。)

2021年度 海老名市の予算

予算総額720億7,400万円 (対前年比▲15億4,900万円 2.1%減)

一般会計452億2,500万円 (対前年比▲6億6,900万円 1.5%減)

特別会計221億9,100万円 (対前年比▲6億9,500万円 3.0%減)

繰り越し明許費の補正

50周年記念プレミアム付き商品券発行業務では9,000万円を増やします (個店券1,500円×6万冊追加)

*繰り越し明許とは 経費の性質や予算成立後のなんらかの理由で、その年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算のことをいいます。

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保業務

国の補助金が追加で交付されることから事業費を増額します。(1億3,421万5千円)

ワクチン接種ですが、国の方向性が定まっていないので、接種券も発送が遅れて高齢者施設に4月の下旬に発送予定です。

対象者はワクチン2箱の947人分が高齢者3万4千人に対し1千人にも満たない数です。予算は2倍になっても自治体は動けない状況にありますが、この間あらゆる状況を想定してワクチン接種に向けての体制強化をお願いしたいと思います。

2021年度新しい事業

中学校給食に向けての取り組み

新たな学校給食調理施設の整備として (6,200万円)

令和5年度中の公立中学校における完全給食の再開を目指します。

窓口案内混雑状況配信システムの導入 (100万円)

コロナ禍の中、窓口の混雑状況を配信し混雑の緩和を促します。

その他<高齢者生きがいづくり事業費>など予算が (▲528万9千円) 減額になっています。事業の内容としては、ふれあいランチ事業・老人クラブ連合会委託事業・プール利用料助成・趣味の教室の開催などです。コロナ禍で中々高齢者が集まらない状態だとは思いますが、行政としては毎日ではつらつと過ごせる機会を作っていただきたいと思います。

ちよこっと コラム

海老名聖火リレーに思うこと

コロナ禍の中オリンピックの聖火リレーが始まりました。花見は自粛と言いながら沿道に人が集まるのはいいの?とってしまいますが、海老名市も聖火リレーが6月30日に通過する予定です。大島記念公園前交差点付近 (海老名ネットの事務所のすぐ側です) をスタートし市役所東側を経て海老名中央公園までのコースを走ります。多分沿道にはたくさんの人が集まるだろう子ども達も動員されます。

島根県知事はこの新型コロナウイルス感染症拡大を懸念して聖火リレー辞退を表明しました。私は正しい判断だと思います。コロナ第4波が来ると言われているときに、聖火リレーで人が集まる状況をつくる、おかしいと思いませんか?

海老名市も「聖火リレー辞退します!」なんて言ったらカッコいい〜って思ったかも。くれぐれもクラスターが発生しないことを願います。

(知事はその後実施容認を表明した)